

アメリカプロ野球独立リーグの一つである、パシフィックアソシエーションリーグに所属するソノマ・ストンパーズにてプレーをしている安田裕希です。

私自身今年で4回目のアメリカでのシーズンになりますが、今年も新しいたくさん  
のことを経験し、野球の面白さ、難しさを改めて感じています。

同時に、4年前何もなかったところから始まった野球選手としての生活が、野球の技術以外も含め、少しずつ積み重なっていることを感じる瞬間にも出会い、とても充実したシーズンを送ることができています。

ソノマはとても小さな街ではありますが、街全体からチームを応援する雰囲気を感じられます。素晴らしい街の雰囲気に加え、いつもチームのために動いてくれるたくさんの球団スタッフやホストファミリーもいます。そんなチームでプレーをすることが出来る喜びを日々強く感じています。こんなにも素晴らしい球団であるために、どれだけの人が選手のために動いてくれているのか。そんなそとを間近で見ることが出来ていることにも、こちらで野球を続けている意味を感じます。

シーズンも約半分に到達しようとしているところで、現在ストンパーズはリーグの首位を走っています。シーズンの序盤は圧倒的な強さで他を寄せ付けない戦いをしていましたが、日が続つにつれ、選手の疲労や対戦相手の選手の戦力が揃ってきた

ことなどから、徐々に連敗することでもできました。ストンパーズも負けが込んでくれば選手の入替えが起きてきます。これがこちらの野球の厳しさでもあり、面白さでもあるのかなと思います。

チームとして負けが込むことは決して良いことではありませんが、選手の入替えが起き始めている今、私にとっては同時にチャンスでもあります。現在はベンチにいる時間が長いですが、選手の入替えが起きる時に、自分の立ち位置を自分の力で変えることができるか。簡単なことではないですが、今まで積み重ねてきたことが結果として現れるように、精一杯のことをやっていきたいと思います。

最後になりますが、今年もシーズンをアメリカの地で過ごす事が出来ているのはシーズン前に行ったクラウドファンディングやTシャツの購入等で支援して下さいました方々や、日頃から気にして声をかけて下さる方々、友人、家族の協力があってこそだと感じています。

今後とも応援していただけるような活動にしていきたいと思います。

引き続き何卒よろしくお願いいたします。

